

## 2023 -2025年度 JICA海外協力隊派遣前訓練業務 (① 二本松 ② 駒ヶ根)

(意見招請公示日：2022年10月3日) について、意見招請実施要項に関する意見・質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構  
調達・派遣業務部次長(契約担当)

通番	該当頁	該当項目	意見・質問	回答
1	24	4.成果品および支払い等	直接経費の建替金額が大きく受注の障害になるケースが多いと考えられるが、グローバルプログラム同様に直接経費の概算払いによる対応は可能でしょうか。	概算払いは可能とする方向で、本公告の検討を行います。
2	13	③具体的な業務内容(イ)派遣前訓練の実施監理業務	オンデマンド教材の作成にあるが、社会全般でのオンライン動画の普及により、求められる品質が高くなっている。については教材作成の際は制作会社への依頼と別途計上することは可能でしょうか。	別紙1業務仕様書P24に記載 3. 事業の実施上の条件および確保されるべきサービスの質 (10) その他一般事項の②で、「本件業務全体に大きな影響を及ぼさない補助的な業務に限」って認めており、受注者が一部業務の再委託を希望する場合は、技術提案書にその再委託予定業務内容、再委託先企業名等を記述してください。
3	8	(イ)短期合同訓練	いずれの年度も「遠隔型」とあるが、短期訓練であるので、以前のように3日～5日で完結するような訓練が適当ではないかと考えます。東京、或いは訓練所において短期での対面型実施は検討されていないのでしょうか。	短期合同訓練については、別添1 派遣前訓練日程サンプル (3 of 6) にあるよう、長期派遣型集合訓練と並行して遠隔型で訓練を実施していることを想定しています。 短期合同訓練の実施において、対面型の実施は想定していません。
4	15	(j)宿直者及び支援スタッフの配置、	駒ヶ根訓練所の宿直対応が1週間に対し、二本松訓練所は訓練期間中のすべての日に宿直の配置が必要となっていますが、想定される業務量目安もそれに応じた分を見込む必要があるのではないのでしょうか。	駒ヶ根および二本松で宿直対応期間が異なります。 宿直対応として想定業務量は、以下を想定しています。 二本松訓練所：2023年度 1隊次あたり130～140人日 2024・2025年度 1隊次あたり160～170人日 駒ヶ根訓練所：2023～2025年度 1隊次あたり10～15人日 質問4・5 共通回答 駒ヶ根訓練所と二本松訓練所では、それぞれの訓練所での業務量（および契約額）は異なります。
5	16	(r)訓練実施に必要なIT機器、物品・資機材等の購入・管理	脚注7に二本松訓練所は各候補者にPCを貸与し、アプリのインストールやPC操作サポート、不具合対応といった記載がありますが、これに対応する業務量はどの程度を想定しているのでしょうか。またその業務量目安に応じた分は追加で計上は可能でしょうか。	二本松訓練所における候補者からのPC操作などのサポートを想定しています。想定業務量は2023年度61人日、2024・2025年度68人日程度を想定しています。 質問4・5 共通回答 駒ヶ根訓練所と二本松訓練所では、それぞれの訓練所での業務量（および契約額）は異なります。